三宅島火山ガス観測結果

前回と同様

1. SO, 放出量

2005年10月~2006年2月の放出量は2000-5000 t/d (平均3300 t/d) であり、2004年10月~2005年10月の平均4000 t/dよりやや低い。

その中でも 11 月~12 月の放出量は平均 3900t/d でありそれ以前と同様であるが、2006 年 1 月~2 月の放出量が 1800~3000 t/d (平均 2500t/d) と低い。

2. H₂0/S0₂濃度比

2005 年中は H_2O/SO_2 モル濃度比= \sim 60 でほぼ一定であり、2004 年 5-7 月(モル比= \sim 40) と比較してやや高い。

丸印は放出量から計算された組成比。推定法の誤差および比較した放出量が同じ時間帯 の測定値ではない、等の理由によりバラツキが大きい。

菱形は携帯型センサーによる山頂部での観測結果。

3. CO₂/SO₂濃度比

CO₂/SO₂モル濃度比=1でほぼ一定。

丸印はヘリ観測結果、印が大きい方が信頼性が高い。

菱形は携帯型センサーによる山頂部での観測結果。

4. CI/S 濃度比

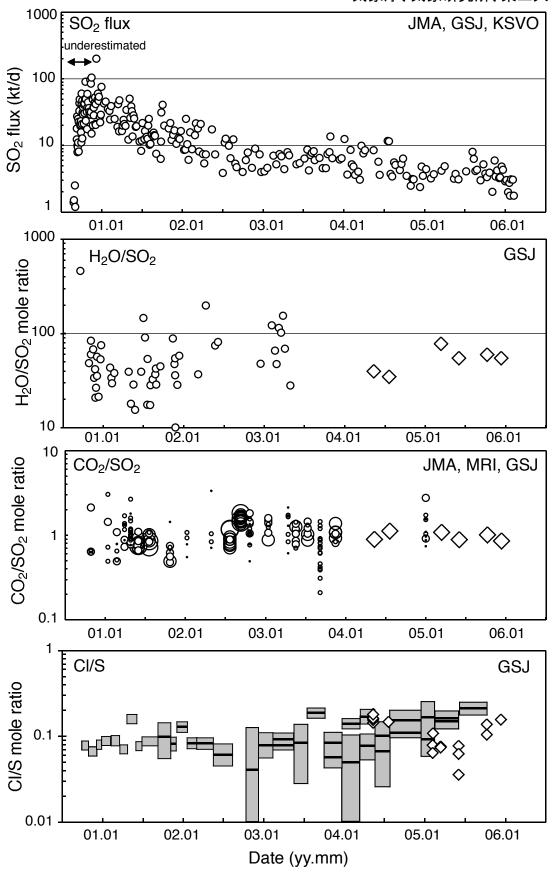
CI/S モル濃度比=0.1 でほぼ一定。

ボックスは山麓でのアルカリ吸収液法、菱形は山頂でのアルカリフィルター法。

5. まとめ

 SO_2 放出量は、2004 年 10 月〜2005 年 12 月の平均 4000 t/d に対し、2006 年 1 月〜2 月 は平均 2500t/d と、低下傾向を示している。

2006年には組成観測はまだ実施されていないため、低下傾向に対応する組成変化があるかは今後の観測が必要である。



三宅島